

自学共育

子どもが**主体**の学校づくり

栄小中合同通信No.1 2025.04.18

子ども達が**1**からつくる **運動会** 準備始まる

5月24日（土）に行われる小中合同運動会に向け、15日（火）の共育タイムで「はじめの会」を行いました。今回の運動会は、これまで先生が担当していた種目づくりなどの準備を、子ども達自身が1から考えてつくっていきます。

当日は、運動会実行委員に立候補してくれた小中学生の皆さんが紹介されました。写真のように、こんなに多くの子が「やってみたい！」と自ら判断して手を挙げてくれたことが、私たち教職員にとってもとても嬉しいことです。一方で、立候補しなかった子も、実は「自分には他にやりたいことがあるから、そちらを頑張りたい」と考えているかもしれません。**自分で考えて選択し、行動しようとする“主体性”**は、何かに参加するだけでなく、こうした“やらないという選択”の裏にも表れるものです。



自学共育～「みんなで学校を創ろう」で生まれた理念～

これまで村の皆さんが「みんなで学校を創ろう」に集まり、子ども達の将来を見据えた「新しい学校」について話し合いをされてきました。その中で生まれた理念が「**自学共育（自ら学び、共に育つ）**」です。栄小・栄中学校ではこの理念を大切にし、昨年度から様々な取組を進めています。今回の「子どもが1からつくる運動会」も、そのひとつです。

この取組は、学校にとっても「これまでの当たり前」を大きく変えていくチャレンジとなります。しかし、**子ども達のいきいきとした表情が増えたことや、これからの予測困難な時代を生きる力を育む必要性を考えると、新しい一歩を踏み出す意味は大きい**と感じています。特に子ども達自身が、これまでのよさを生かしながらも「どうしたらさらに楽しい運動会になるかな?」「新しくどんなことをやってみたいかな?」と考え、挑戦していく過程を大切にしています。

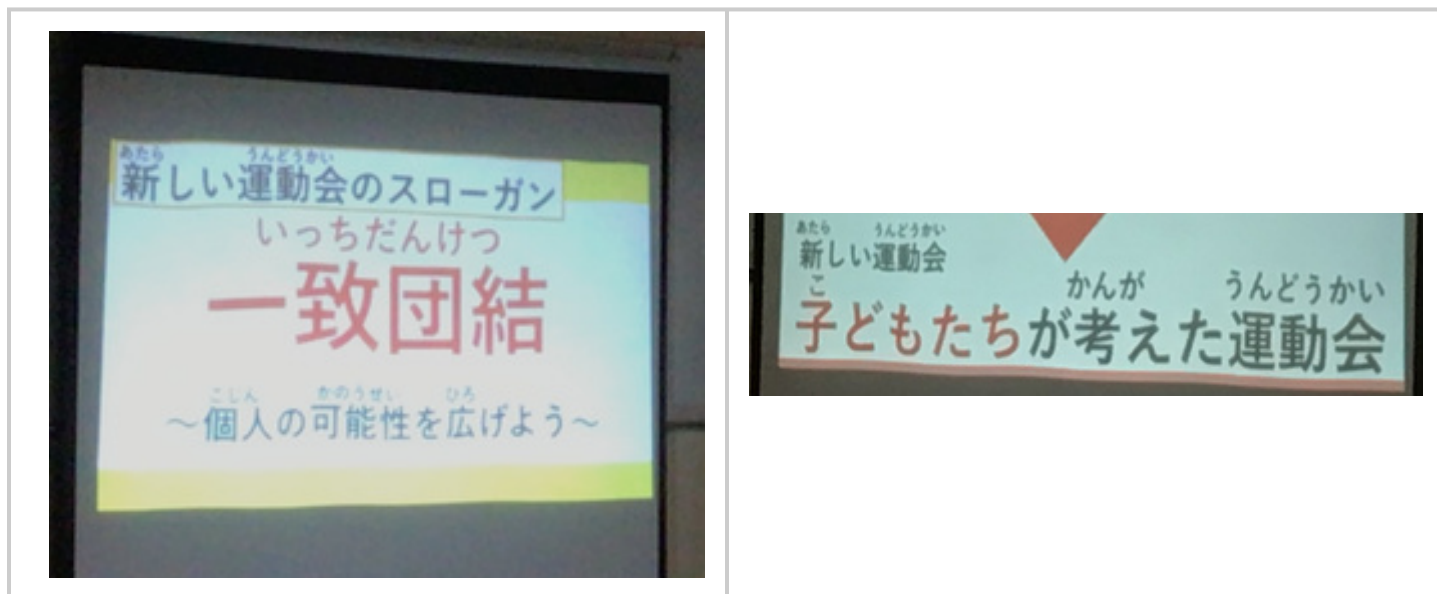
学校としては、そうした過程の中で子ども一人ひとりの**“主体性（自分で考え、行動する力）”**を育み、将来に生きる力へとつなげたいと考えています。子どもが自分で選んだ活動に本気で打ち込み、楽しんでいる姿を見守っていただけると幸いです。

保護者の皆様へ

「子どもが1からつくる運動会」は、これまでとは少し違った場面も出てくるかもしれません。ですが、子ども達が楽しそうに取り組んでいる様子や、彼ら自身の工夫による変化をぜひ一緒に見つけていただければと思います。これからもこのお便りを通して「自学共育」や学校づくりの方向性を少しずつお伝えしていきますので、温かく見守っていただけると嬉しいです。

子ども達が自分の「好き」や「やってみたい」を活かせる運動会、そして学校にしていけるために、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

（文責：中学校教頭 田中 新一）



実行委員が作成し、全校に示した「スローガン」（左）と「新しい運動会で変わること」（右）